

「はたらくNIPPON!計画」A型フォーラム in 埼玉

～A型から多様な働き方を～

報告書

- 日 時：平成31年3月9日（土） 10時～17時
- 場 所：大宮ソニックシティホール
- 参加人数：約200名

基調講演 10:15～11:15

「ディーセント・ワーク実現に向けて求められる障害者就労支援施策のあり方
ーA型事業利用者へのヒアリング調査をもとにー」

講師：松井亮輔 氏（法政大学名誉教授）

A型事業所利用者へのヒアリング調査の結果・分析から、利用者の視点から見たA型事業所の意義と課題、課題解決に向けた取組みを具体的な事例を挙げながら講演いただきました。

行政説明 11:15～12:05

「障害者就労支援施策の動向 ～A型事業所の現状と課題を中心に～」

講師：村山美奈子 氏（厚生労働省社会援護局障害保健福祉部障害福祉課）

現在の障害者を取り巻く状況等や就労継続支援A型事業所の適正な運営について事業所の実態調査を踏まえた形成改善計画の主旨と今後の運用方法について講演いただきました。

調査報告

「就労継続支援A型事業所における短時間労働に関する調査」

講師：佐藤さやか 氏（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
地域・司法精神医療研究部臨床援助技術研究室長）

調査を実施に至る背景の説明と就労継続支援A型事業所に通所する精神障害者の労働時間と臨床像について実態調査を行い、両者の関連について検討した結果についての進捗状況と中間分析結果についての報告をしていただきました。

分科会 13:25～14:55

●第1分科会「短時間労働と障害特性について」

コーディネーター：加納尚明 氏

登壇者：三木紀子 氏（一般社団法人ワークワーク理事）

関根嘉明 氏（社会福祉法人ゆずりは会理事長）

新井利昌 氏（埼玉福興株式会社代表取締役）

各登壇者より事業所活動の紹介、現在の状況や個別支援に沿った各利用者の障害特性を考慮した作業形態との報告がありました。

●第2分科会「特例子会社とA型事業所の関係について」

コーディネーター：今野雅彦 氏（MCSハートフル株式会社・

MCSハートフルA株式会社代表取締役）

石崎由希子 氏（横浜国立大学大学院

国際社会科学研究院准教授）

登壇者：桜田満志 氏（株式会社ベネッセビジネスメイト

代表取締役社長）

荻原義文 氏（NPO法人就労継続支援A型事業所協議会

理事長）

特例子会社とA型事業所双方が連携することにより、お互いのメリットを生かすことによる障害者が出来る限り長く働ける仕組みの構築を目指す取り組みと今後の課題・問題提起がありました。

●第3分科会「精神障害者にとって、地域で生活を自立するために、

A型事業所が貢献できるか」

コーディネーター：久保寺一男 氏（NPO法人就労継続支援A型事業所

全国協議会理事長）

登壇者：中村敏彦 氏（一般社団法人ゼンコロ会長）

赤松英知 氏（きょうされん常務理事）

加藤裕二 氏（社会福祉法人オリーブの樹理事長）

障害者雇用・就労研究会が実施した「障害者のディーセントワーク実現に向けて求められる施策の在り方に関する調査研究」の結果から見えてきた現状や課題を報告。また、各登壇者より自立した地域生活をしていくための課題や問題提起が行われました。

全体ミーティング 15:10～16:50

●ダイバーシティ就労研究フォーラムの取組み

報告者：岩田克彦 氏（一般社団法人ダイバーシティ就労支援機構代表理事）

2018年に発足した一般社団法人ダイバーシティ就労支援機構の趣旨・今後の活動について報告をしていただきました。

●分科会報告

各分科会コーディネーターより分科会の報告を行いました。

●関東地区の各支部より挨拶及び報告

コーディネーター・登壇者を務めていただいた千葉県の加藤裕二氏、神奈川県の久保寺一男氏、埼玉県の新井利昌氏、群馬県の関根嘉明氏の他に東京都の近藤友克氏より各県支部での活動報告等を行いました。

●全Aネット報告

報告者：久保寺一男 氏

全Aネットより活動報告と各機関からの助成事業の今後の展開・取組みについての報告を行いました。

●大会宣言

発声者：今野雅彦 氏（MCSハートフル株式会社・

MCSハートフルA株式会社代表取締役）

*全体のまとめ

就労継続支援A型事業より多様な障害特性に配慮した働き方を提案すべく、講演・行政説明・分科会を通していろいろな視点から論議されました。また、今回のフォーラムは精神障害の方々の働き方についても論議され、短時間労働や病状等に配慮しながら、利用者の方々が社会の一員として「はらたく」をどのように支援していくかのヒントを得られ、今後も継続的に議論されることが必要だと感じました。

開催にあたり、日本財団の助成をいただいたこと、後援をいただいた埼玉県さいたま市・さいたま障害者就業サポート研究会に深く感謝申し上げます。